

製品名: Skp1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87215**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,FC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:19 kDa; Observed MW:19 kDa

抗原情報

遺伝子名	Skp1
別名	OCP2; p19A; EMC19; SKP1A; OCP-II; TCEB1L
遺伝子ID	6500
SwissProt ID	P63208
免疫原	ヒト Skp1 の合成ペプチド

背景

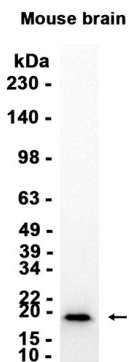
この遺伝子は、このタンパク質、リングボックスタンパク質であるカリン 1、および F ボックスタンパク質ファミリーの1つのメン

バーからなる SCF 複合体の構成要素をコードしています。このタンパク質は、F ボックスタンパク質に含まれる F ボックスモチーフに直接結合します。SCF 複合体は、特定のタンパク質基質の制御されたユビキチン化に関与し、プロテオソームによる分解の標的となります。特定の F ボックスタンパク質はそれぞれ異なる標的タンパク質を認識し、細胞周期の進行と発達の調節因子を含む多くの特定の SCF 基質が同定されています。また、このタンパク質は RNA ポリメラーゼ II 伸長因子であることも研究で明らかにされています。この遺伝子の選択的スプライシングにより、2つの転写バリエーションが生じます。関連する偽遺伝子が7番染色体上に同定されています。[RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



Skp1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス脳組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。